

2019 年度心理臨床センター 活動報告

心理相談室

● 利用者と相談件数について

表 1 利用者数

新規	新規		継続	延べ 相談件数	心理 アセス メント	コンサル テーション
	本年度 新規	再申込 新規				
55	54	1	89	1267	23	10

表 2 新規利用者の内訳

年齢	男性	女性	全体
0～4	0	0	0
5～9	1	2	3
10～14	0	4	4
15～19	1	7	8
20～29	2	9	11
30～39	0	5	5
40～49	2	10	12
50～59	1	8	9
60歳以上	1	2	3
不明	0	0	0
計	8	47	55

当センターでは、新規来談者の相談内容について表 4 のように分類しています。2016 年度より、相談種別分類の項目を改定し、相談業務に役立てています。

相談種別分類によると、当センターでお受けしている相談内容は、「家族の問題」、具体的には育児や夫婦関係など、家族に関する相談が最も多くなっています。次いで多いのは、「学校での問題」です。今後も引き続き、各機関との連携をはかりながら、よりよい相談体制を整えていきたいと考えています。

● 京都府立医科大学付属病院内「こころの相談コーナー」相談実績

本学と京都府立医科大学との大学間連携に基づき、2015 年度より心理臨床センターの事業として、「こころの相談コーナー」を開設している。これは、京都府立医科大学病院の外來部門の一室に心理相談室スタッフ(臨床心理士)を配置し、患者の家族に対して、治療に直接関わらない心理的な問題について、状況整理やストレス軽減を目的とした面談のほか、本学心理臨床センターも含む専門機関などについての情報提供等を行っている。また、2015 年 12 月より開始した NICU 病棟へのラウンドによる相談業務も継続中である。

2019 年度の相談実績は表 5 のとおりである。

開室日時: 週 2 日(月・木)の午前中。

相談員: 各 1 名(延べ 2 名)。

新規相談件数: 18 件 延べ相談回数: 47 回

NICU ラウンド回数: 80 回

表 3 居住地別利用者数

住所	新規	継続
京都市(左京区)	15	31
京都市(左京区以外)	29	36
京都府西部	0	3
京都府南部	3	2
京都府北部	2	2
近畿圏(京都府以外)	3	13
他都道県(近畿圏以外)	3	2
不明	0	0
計	55	89

(各地域の範囲)

京都西部: 亀岡市、向日市、長岡京市、大山崎町

京都南部: 宇治市、八幡市、久御山町以南

京都北中部: 南丹市以北

新規件数は、2019 年度に受理したケース数です。継続件数は、2018 年度以前に受理し、2019 年度 4 月時点で継続していたケース数です。心理アセスメント件数は、WAIS-IV や WISC-IV 等の知能検査、ロールシャッハ・テスト、P-F スタディ、描画テスト等の人格検査ほか幅広く実施しており、他機関からの依頼も受け付けています。コンサルテーションについては、教育機関や行政機関等の各関係機構に対して実施しており、多方面との連携に努めています。

来談者の年代は 5～9 歳から 60 歳以上の方もおられます。女性では、特に 20 歳代や 40 歳代の来談件数が多いですが、幅広い年齢層の方が来談されています。また当センターでは、「家族カウンセリング」の割合が多く、学齢期の子どもの相談で来所される保護者の来談が多いです。男性では年齢によって人数に偏りはあまりみられませんが、医療機関からの紹介を受けて自身の問題で来談される方や子どものことで父親が来談されるケースがみられます。

表 4 相談種別分類(新規)

相談内容	相談件数
学校での問題	15
発達に関する問題	7
家族の問題	16
職場での問題	3
精神症状に関する問題	9
対人関係の問題(学校・家族・職場以外)	0
生き方・性格に関する悩み	2
身体疾患・身体障害にまつわる問題	0
その他	3
計	55

表 5 相談内容の内訳

性別	件数	
	男	女
立場	家族・親戚	36
	本人	10
	その他	1
	計	47
年代	20歳代	5
	30歳代	13
	40歳代	1
	50歳代	9
	60歳代	12
	70歳代	6
80歳代	1	

発達相談室

● 利用者と相談件数について

表 6 相談件数

新規	継続	延べ相談件数	集団プログラム実施回数	延べ参加者
6	2	10	27	142注

注)142 名の中には、集団プログラム内の個別無料相談への参加延べ 14 名、個別発達検査参加 8 名も含まれます。

個別相談では、近隣医療機関や幼稚園、小学校からの紹介により、当室につながったケースがあり、未就学児の問題行動や発達の遅れ、就学児の学習支援のためのアセスメントの依頼などに対応しました。

2019 年度で 17 年目の集団プログラムには、7 組の親子が参加継続者と新規参加者が混在するグループ編成での実施でした。発達課題は、「集団での相互交渉」「言葉発達」「スムーズな母子分離」など多様でしたが、グループ活動の特長を活かしながら、個々の発達に合わせてプログラムを組立てました。2020 年 2 月には、個別相談・発達検査を実施できましたが、コロナ感染予防のため 3 月のビデオ視聴会は中止となりました。

心理臨床センター 概要

● スタッフ構成

● 料金表

	役職	人数	構成員の所属
心理相談室	専任相談員	6(6)	心理学研究科教授、准教授
	精神科医	1	心理学研究科教授
	専門相談員	1(1)	
	博士前期課程1年次生	9	
	博士前期課程2年次生	10	
	研修員	13(9)	
	専門事務職員	1(1)	兼務
	客員スタッフ	1(1)	京都大学カウンセリングセンター教授
	小計	42(18)	
			※()内は臨床心理士数
発達相談室	専任相談員	2(2)	心理学研究科教授、准教授
	専門事務職員	1	兼務
	小計	3(2)	
			※()内は臨床発達心理士数
	計	45	

初回面接	3000 円
カウンセリング	2000 円/50 分
親子並行面接	3000 円/50 分
診断面接	2000 円/50 分
発達相談	2000 円
特別プログラム	内容によって異なる
コンサルテーション	3000 円
心理検査	2000 円/1 時間
	3000 円/2 時間
文書料	1000 円/1 通

● 施設 見取り図

